

司法試験の年間合格者数は 1000 人以下とすべきです



ともに日弁連を変えよう！

市民のための司法をつくる会（変えよう！会）

代表：及川 智志 顧問：宇都宮健児 / 海渡雄一

<http://change-nichibenren.com> ←賛同者募集中

2003年の弁護士数は1万9508人、民事事件の新受件数は607万0201件。2018年の弁護士数は4万0066人、民事事件の新受件数は362万2502件。**弁護士は倍増して、事件数は4割減です。**訴訟以外の潜在的需要の掘り起こしも思うようには進んでいません。**弁護士の所得の中央値は、2006年の1200万円から2018年の650万円に半減しています。**弁護士の経済的基盤は弱体化する一方です。

司法試験合格者1500人を続ければ、弁護士人口は2060年には現在の4万1069人から5万7518人となります（日弁連シミュレーション）。他方、日本の人口は2060年には現在の1億2600万人から8674万人に減少します（内閣府）。**弁護士1人当たりの国民数は、約3100人から約1600人に半減します。**

皆さん！ このままで、生き残れますか？ 奨学金や修習貸与金を返済しながら、安心して、生活できますか？ 家庭が営めますか？ 基本的人権の擁護と社会正義の実現という弁護士の使命を全うすることができますか？今こそ、1500人からの更なる減員については白紙という今の日弁連の立場を改め、司法試験の年間合格者数を1000人以下とすべきの方針を打ち出し、その実現を目指すべきではないでしょうか！

弁護士人口シミュレーション

(年間合格者1500人を続けた場合)

2018年 4万0066人

2050年 6万3374人

2060年 5万7518人

★弁護士激増！

弁護士数と総新受件数の推移

2003年 19,508人 6,070,201件

2008年 25,041人 4,432,985件

2018年 40,066人 3,622,502件

★弁護士は倍増・事件は4割減！

日本の人口の推移

2019年 1億2615人

2060年 8674万人

法科大学院74校うち

39校が募集停止

★制度崩壊！

司法試験受験者数 合格者数 合格率

2003年 4万5372人 1170人 2.33%

2011年 8765人 2063人 23.5%

2017年 5967人 1543人 25.9%

2018年 5238人 1525人 29.1%

2019年 4466人 1502人 33.6%

★司法試験の選抜機能喪失？

弁護士の所得中央値の推移

2006年 1200万円

2008年 1100万円

2010年 959万円

2014年 600万円

2018年 650万円

★所得半減！

🌸 活動資金のカンパをお願いします 🌸

(振込口座) みずほ銀行 京都中央支店 普通預金 口座番号3010571

口座名義 「変えよう会 会計 牧野聡」(かえようかい かいけい まきのさとし)

チェンジ日弁連

